

# 第11回再処理・リサイクル部会総会の報告

## 1. 2005年度活動報告

青字:次紙以降に補足資料あり

- (1) 6月13日 敦賀エネルギーセミナー(敦賀)
- (2) 8月 臨時運営委員会:運営委員異動・新任(メール)
- (3) 9月13日 運営委員会:運営委員異動・新任確認等(八戸工大)
- (4) 9月15日 部会企画セッション、部会総会、部会講演(八戸工大)
- (5) 10月9~13日 **GLOBAL2005国際会議**(つくば)
- (6) 2月10日 拡大運営委員会:セミナー、国際WS、**人事**等(東電)
- (7) 2月27日 部会表彰募集(HP、メール)
- (8) 3月 部会表彰選考(表彰委員会、委員長:田中副部会長)
- (9) 3月24日 拡大運営委員会(大洗) →
- (10) 3月25日 **部会総会、部会表彰、部会講演\***(大洗)
- (11) 3月28日 フランス電力公社特別講演会(電中研)



## 2. 2006年度活動計画

- (0) **2006年度部会運営委員**
  - (1) 時期未定 第3回ぎんぎん技術セミナー(箱根)
  - (2) 5月18日 **第4回再処理リサイクルセミナー**(東大)
  - (3) 9月28日 部会総会・講演、**企画セッション**、運営委員会(北大)
  - (4) 12月頃 第3回国際ワークショップ(九大)
  - (5) 3月 部会総会・講演、企画セッション、運営委員会(名大)
3. 会計報告 **2005年度予算・実績、2006年度予算**
4. 部会表彰 功績賞:竹内哲夫氏、感謝状:GLOBAL2005事務局4名
5. 報告結果 上記全ての案件が**部会総会**において**承認**された。



\*部会講演

田中原子力部会長「LWRからFBRサイクルへの移行シナリオ」

# 2005年度活動報告

(5) **GLOBAL2005国際会議**: 参加者650名、参加国32\*、論文470件\* (\*過去最高)



市原つくば市長歓迎挨拶



JNFL児島社長特別講演



ポスターセッション



工業展示

(6) **人事**: 2006年4月1日～

- ① 部会長交代      竹内哲夫部会長→田中知部会長代行(任期途中のため代行)
- ② 副部会長交代    田中知副部会長→井上正副部会長代行(任期途中のため代行)
- ③ 旧部会長        顧問として引き続き部会運営に助言いただく
- ④ 旧運営委員     参与として引き続き部会運営に協力いただく
- ⑤ 内規改訂        上記に伴い部会内規を次のように改訂する

● 部会の運営を支援するため、部会長経験者を顧問、運営委員経験者を参与とする。

● やむを得ぬ理由により任期途中で退任する場合には、代行者を立てることができる。代行者は委員会で選任し、部会員または部会総会に報告して了解を得る。

## 2006年度部会運営委員(案)

部会長代行:	田中 知 (東大)	部会表彰、部会セミナー、国際WS
副部会長代行:	井上 正 (電中研)	学会セッション、部会セミナー、国際WS
運営委員:	浅沼 徳子 (東海大)	会計、国際WS
	天野 治 (電中研)	幹事、国際WS
	有田 裕二 (名大)	学会セッション、部会セミナー
	稲垣 八穂広(九大)	国際WS
	倉重 有幸 (原燃工)	部会セミナー
	佐藤 修彰 (東北大)	国際WS
	白井 理 (京大)	学会セッション、ぎんぎんセミナー
	鈴木 一雄 (東電)	六カ所情報、部会セミナー
	中村 裕行 (日本原燃)	六ヶ所情報、国際WS
	西村 友宏 (電中研)	学会セッション、部会セミナー
	半沢 正利 (三菱マテリアル)	部会セミナー
	深澤 哲生 (日立)	庶務幹事、部会セミナー
	藤田 雄二 (原子力機構)	部会セミナー、部会HP
	森 行秀 (三菱重工)	国際WS、会計
	森田 泰治 (原子力機構)	部会セミナー
	山田 和矢 (東芝)	学会セッション、国際WS

顧問: 竹内哲夫(元東電)

参与: 野村茂雄、土尻滋、小山智造、峯尾英章、駒義和(以上原子力機構)、鈴木一弘(東電)、藤田玲子(東芝)、松本史朗(埼玉大)、田辺哲朗(九大)、山名元(京大)、山村力(元東北大)、波多野守(エネ総研)、大月淳(元日立)

# 2006年度活動計画

## 第4回再処理リサイクルセミナー（案）

1. テーマ これからの燃料サイクルシナリオと対応システム（案）
2. 目的 昨年10月に閣議決定された原子力政策大綱を具現化するため原子力部会で熱心な議論が展開され、FBRサイクル実用化戦略調査研究フェーズⅡが今年度終了して評価段階に入ります。また、今年2月に米国の提唱した国際原子力エネルギーパートナーシップ(GNEP)は、国際的な燃料サイクル、核不拡散の課題解決を目指しています。国内外の燃料サイクルを巡る動きが活発化している状況で、今後の燃料サイクルのあり方を議論し確認するため、本セミナーを開催します。
3. 開催日 平成18年5月18日（木）、東大・山上会館
4. 参加費 正会員 10,000円、非会員 15,000円、シニア 5,000円、学生 無料（テキスト代を含む）
5. 主要プログラム（ドラフト）
  - 〔1〕 FBRサイクル実用化戦略調査研究(FS) フェーズⅡの評価
    - (1) FSの評価と原子力分野の研究開発 原子力研究開発課長 中村雅人（MEXT） 10:00～10:40
    - (2) FBRに関するFSの成果と評価 (JAEA) 10:40～11:20
    - (3) 燃料サイクルに関するFSの成果と評価 (JAEA) 11:20～12:00
  - 〔2〕 原子力部会の議論
    - (1) 原子力部会の狙いと政策立案への反映 原子力政策課長 柳瀬唯夫（METI） 13:00～13:40
    - (2) 原子力部会での議論内容 原子力部会長 田中 知（東大） 13:40～14:20
  - 〔3〕 GNEPについて 岸本洋一郎（JAEA） 14:20～15:00
  - 〔4〕 特別講演「キセル原子力屋の次世代への伝言」 部会長 竹内哲夫 15:20～16:00
  - 〔5〕 全体議論 16:00～16:30
6. 事前申込、問合せ先

再処理・リサイクル部会運営委員 森田 泰治（JAEA）morita.yasuji@jaea.go.jp, FAX 029-282-6677

## 2006年度活動計画

### 2006秋の大会（北大）部会企画セッション（案）

1. テーマ        FBRサイクル実用化戦略調査研究フェーズⅡのとりまとめと六ヶ所再処理の現状（案）
  
2. 概要        FBRサイクル実用化戦略調査研究フェーズⅡのとりまとめ結果に基づく我が国のFBRへの移行シナリオと、（GNEP構想など）海外諸国における取り組みとの整合性について議論する。  
六ヶ所再処理工場（ウラン試験の概要報告と、アクティブ試験の概要）や、中間貯蔵についても紹介・討論。
  
3. 開催日        平成18年9月28日（木）、2時間程度
  
4. 主要プログラム（ドラフト）
  - 〔1〕 FBRサイクル実用化戦略調査研究(FS)フェーズⅡの評価
  - 〔2〕 GNEP等外国情勢について
  - 〔3〕 六ヶ所再処理工場（日本原燃）
  - 〔4〕 全体議論

# 再処理・リサイクル部会会計報告 2005年度予算・実績

	項 目	予算 (円)	実績 (円)	説 明
収入の部	部会収入	2,733,299	1,983,603	
	平成16年度繰越金	1,190,299	1,190,299	
	經常予算	318,000	172,000	
	平成17年度部会配付金	172,000	172,000	
	セミナーテキスト収入	0	0	
	その他収入	146,000	0	
	セミナー	1,225,000	621,304	
	参加費	1,225,000	0	
	部会補助金収入	0	621,304	經常予算より支出
	その他収入	0	0	
支出の部	部会支出	1,654,000	1,444,442	
	經常予算	429,000	823,138	
	会議費	27,000	40,000	
	通信費	27,000	7,167	
	印刷費	90,000	32,207	
	講師謝金・旅費	225,000	62,460	
	会員管理費	60,000	60,000	
	会報印刷費	0	0	
	予備費	0	621,304	セミナー補助金(セミナー収入へ)
	セミナー	1,225,000	621,304	敦賀エネルギーセミナー
	会場費	200,000	68,805	
	運営費	25,000	50,000	アルバイト代
	講師謝金・旅費	270,000	323,540	
	印刷費	540,000	62,559	ポスター印刷及び発送料
	雑費	190,000	116,400	弁当代等
収支		1,079,299	539,161	平成18年度へ繰越し

# 再処理・リサイクル部会会計報告 2006年度予算（案）

項 目	予算（円）	H17年度（円）	比較増減（円）	説 明
部会収入	1,892,161	2,733,299	▲841,138	
平成17年度繰越金	539,161	1,190,299	▲651,138	
經常予算	238,000	318,000	▲80,000	
平成18年度部会配付金	203,000	172,000	31,000	
セミナーテキスト収入	0	0	0	
その他収入	35,000	146,000	▲111,000	セミナー残金
セミナー	1,115,000	1,225,000	▲110,000	
参加費	1,115,000	1,225,000	▲110,000	
部会補助金収入	0	0	0	
その他収入	0	0	0	
部会支出	1,281,000	1,654,000	▲373,000	
經常予算	201,000	429,000	▲228,000	
会議費	30,000	27,000	3,000	
通信費	10,000	27,000	▲17,000	
印刷費	0	90,000	▲90,000	
講師謝金・旅費	100,000	225,000	▲125,000	
会員管理費	61,000	60,000	1,000	
会報印刷費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
セミナー	1,080,000	1,225,000	▲145,000	
会場費	200,000	200,000	0	
運営費	50,000	25,000	25,000	アルバイト代
講師謝金・旅費	250,000	270,000	▲20,000	
印刷費	510,000	540,000	▲30,000	
雑費	70,000	190,000	▲120,000	
収支	611,161	1,079,299	▲468,138	